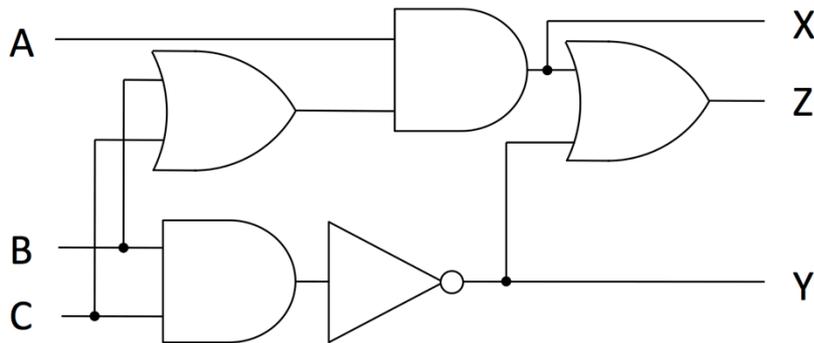




2. 論理回路の入力 A, B, C に対する出力 X, Y, Z を求め、以下の真理値表を完成しなさい。



A	B	C	X	Y	Z
0	0	0			
0	0	1			
0	1	0			
0	1	1			
1	0	0			
1	0	1			
1	1	0			
1	1	1			

(3) 次の記述中の【 】に最も適切な語句を解答群から選び、その記号を入れなさい。

- 計算機の速さの単位のうち【 】は一秒間にいくつの命令を処理出来るかを表す単位である。また【 】は1秒間に小数値の計算を何度実行できるかを表す単位であり、【 】の能力に強く関連している。
- 磁気ディスク装置は、回転する磁気ディスクを【 】に取り付けられた【 】がなぞり、データを読み書きする。
- 計算機の記憶装置のうち、電源を切ると内容が失われることを【 】といい、中央処理装置と直接接続された記憶装置である【 】の多くが該当する。それに対し、電源を切っても内容が保持されることを【 】という。

解答群

- ア. 揮発性    イ. 不揮発性    ウ. 保存性    エ. 消失性    オ. 蒸発性  
 カ. 主記憶装置    キ. 副記憶装置    ク. 補助記憶装置    ケ. FLIP-FLOP  
 コ. FLOPS    サ. FLOAT    シ. INT    ス. MICS    セ. MIPS  
 ソ. 科学技術計算    タ. 会計処理    チ. センサ    ツ. 磁気テープ  
 テ. 磁気ヘッド    ト. トラック    ナ. アクセスアーム

学籍番号 : \_\_\_\_\_ 名前 : \_\_\_\_\_



c. 10 の整数乗倍を表わす接頭語の記号 G (ギガ), k (キロ), M (メガ), T (テラ) の 4 つについて, その大小関係を正しく並べなさい。

【       】 < 【       】 < 【       】 < 【       】

(6) 以下の【       】の中に入る適切な語を, 下段に示される□内の語の中から選択し, その記号を【       】内に記入しなさい。

1. 記憶装置の能力は, どれだけの量のデータやプログラムを記憶できるかを【①       】で表す。
2. 主記憶装置がどれだけの量のデータやプログラムを記憶できるかは, 何桁の 2 進数に相当する長さのデータやプログラムを記憶するかの単位である【②       】が基本となるが, 一般的にはその 8 倍の長さに相当する【③       】が用いられている。
3. 主記憶装置よりも大量のデータやプログラムを記憶できる補助記憶装置(外部記憶装置)の中でも, パーソナルコンピュータなどでもっとも一般的に利用されている磁気記憶装置に【④       】がある。この補助記憶装置は, 大規模な装置になると 1 台で数【⑤       】の容量をもつものもあり, 映像を記録する目的などで利用されている。
4. 主記憶装置を構成しているダイナミック【⑥       】は, 処理すべきデータの量が増加し, またそのためのプログラムも大規模化しているため, 最近ではその【①】は, メガバイトの千倍に相当する【⑦       】を単位として表現されている。しかし, 主記憶装置は, 電源を切ると記憶した内容が失われる【⑧       】メモリである。その主記憶装置へのアクセス速度を高速化するために利用されるのが, 【⑨       】である。

ア. メガバイト	イ. サイクル	ウ. ミリ秒	エ. ハードディスク	オ. 記憶容量
カ. ギガバイト	キ. ナノ秒	ク. キャッシュメモリ	ケ. ピコ秒	コ. ビット
サ. マイクロ秒	シ. アクセス	ス. テラバイト	セ. ナノ秒	ソ. キロバイト
タ. 磁気テープ装置	チ. レジスタ	ツ. バイト	テ. アドレス	ト. RAM
ナ. 揮発性	ニ. ROM			